

Contents **アーカイブズ**

2009.7 Vol.36

カラーグラビア

目次・まえがき

▶ I 文化財指定された行政文書

近代文書群の文化財指定について.....	地主 智彦	1
公文録等の重要文化財指定とその後の取組み.....		13
京都府行政文書の重要文化財指定と課題.....	福島 幸宏	17
山口県行政文書の重要文化財指定.....	山崎 一郎	21
埼玉県行政文書の重要文化財指定とその管理.....	白井 哲哉	26
東京府及び東京市関連行政文書の都指定有形文化財の指定.....	畑中 佳子	29
群馬県行政文書の県重要文化財の指定.....	中村 みき	33
長野県行政文書の県宝指定.....	児玉 卓文	37
奈良県行政文書の県指定文化財の指定.....	大宮 守友	40

▶ II 公文書館をめぐる国・地方の動き

開館四十五年を迎えた京都府立総合資料館.....	井口 和起	43
開館十五年を経た秋田県公文書館の近況.....	柴田 知彰	46
ARMA International のご紹介	柿崎 康男	49

▶ III 公文書館ニュース

「InterPARES3 シンポジウム」参加記.....	中島康比古	53
平成21年度国際アーカイブズの日記念講演会と全国公文書館長会議.....		57
独立行政法人国立公文書館の動き（平成21年3月～6月）.....		59
平成21年夏の企画展のご案内・編集後記.....		62

今号から表紙をリニューアルしました。平成21年度のデザインは、中心に永遠の時の流れを示す円を置きました。上弦は筆の軌跡とし、これまでの文書管理の蓄積を表します。いっぽう下弦にはデジタル社会を象徴し、新たな電子文書の世界の広がりを表しました。そこに筆文字も鮮やかな「代史家伝抄」、約20年前の公文書館法公布の閣議書、アジア歴史資料センターのトップページとロゴマーク、国立公文書館デジタルアーカイブシステムを重ね合わせてみました。6月の公文書等の管理に関する法律の成立を受け、「時の流れを貫く記録」を伝えていく国立公文書館の役割をイメージしました。